

1 事業内容

団体名	チームくしろ防災女子
事業名	もしもの備え「災害0次の持出品セット」作成事業
課題テーマ	市民提案枠「安心して暮らせる都市」
事業提案の背景	千島海溝を震源とする大地震の発生が懸念される今、市民各自が持出品の準備をする必要がある。また避難所において女性や子供、性的少数者に対して発生する問題が課題となっている事を背景とする。
事業目的	事業を通じて市民の防災意識向上を目的とし、災害に対する備えを進める事、避難所での生活について配慮し合える基礎的な知識を提供する一助となる事を目的とする。
事業概要	釧路市内の数棟の避難所を視察し、市民が備えるべき持出品等を検討したうえで携帯できる最小限の持出品を防災・衛生の専門家も交え、女性目線で試作し、モニターから意見を求める。
事業展開	常時携帯できる持出品の試作品は、モニターからの意見により改良を重ね、実用可能なレベルの完成品を目指す。また、防災の専門家（医療・衛生）と連携して安心して避難生活（在宅避難を含む）を行える情報提供を継続して検討していくと、していたが、事業を進める中で「アンケートの実施」→「持出品試作品作成及びモニターへの配布」→「アンケートの実施」→「情報提供（冊子配布・セミナーの開催等）」をアンケートの結果を踏まえ、内容を変更することとした。
成果目標の達成状況	試作品作成のためのアンケート1回、試作品作成及びモニターへの配布（100個）、試作品使用後のアンケートまでを実施
波及効果の達成状況	二度実施したアンケート結果からも、防災意識の向上にある一定程度貢献できたことが確認できたと考えられる。
実施体制	チームくしろ防災女子 日本赤十字北海道看護大学 根本昌宏教授
連携した市担当課	無 ・ 有（総務部防災危機管理課）
連携した市担当課が果たした役割（※有の場合）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難所及び備蓄に関する情報提供及び視察についての調整 ・ 避難所運営マニュアル等についての情報提供 ・ 持出品に対するアドバイス

2 支出決算書と支出内訳

(収入)

費目	決算額 (円)	内訳
輝くまちづくり交付金	300,000	
自己資金	73,843	会費等
合計	373,843	

(支出)

費目	決算額 (円)	内訳
対象経費		
印刷製本費	29,190	アンケート、説明書等コピー代
消耗品費	291,253	試作品(100個)代、封筒、用紙
役務費	37,400	試作品郵送費、切手代
使用料・賃借料	16,000	会議室使用料
小計	373,843	
対象外経費		
小計	0	
合計	373,843	